

興福寺中金堂再建記念・興福寺シンポジウム

阿修羅像 天平の心と 技を未来へ

X線CTスキャナを用い、
8年かけて解析。
造像と修復の
謎に迫る!

2018年 3月4日 [日]

開場 12時30分 13時—16時10分

九州国立博物館

ミュージアムホール

参加費 無料

当日先着280名

主催 九州国立博物館、法相宗大本山興福寺、朝日新聞社
後援 九州朝日放送、奈良県ビジュアルロー、奈良県、奈良市

動画
配信決定!

九州国立博物館
ホームページで公開

同時
配信

奈良大学HP、興福寺HP、
奈良ファン倶楽部HP

2009年に九州国立博物館で特別展が開催された際に、文化財用の大型CTスキャナを用いて、阿修羅像など八部衆・十大弟子のうち9体について健康診断や内部構造調査を実施しました。その結果、驚くべき多くの新しい発見がありました。その成果は、『興福寺シンポジウム 阿修羅像を未来へ』(有楽町朝日ホール)、『阿修羅 1300年の新事実』(NHK総合)として紹介されました。このたび、これまでの研究成果に新発見を加えて、CTスキャナによる阿修羅像の調査研究を総括いたします。本シンポジウムが阿修羅像研究の新しい基盤となると共に、『文化財を未来に受け渡すために、未来を担う若者に文化財の大切さを伝えたい』という願いをこめて、シンポジウムを開催いたします。

開会挨拶



島谷弘幸
九州国立博物館
館長

HIROYUKI SHIMATANI
1953年、岡山県生まれ。東京教育大学卒業。東京国立博物館学芸部美術課書跡室長、展示課長、学芸研究部長、副館長(兼)独立行政法人国立文化財機構本部研究調整役などを経て2015年から現職。

基調講演



多川俊映
興福寺貫首

SHUNEI TAGAWA
1947年、奈良県生まれ。立命館大学(心理学専攻)卒業。1989年から現職。美術院評議員。著書に『唯識とはなにか―唯識三十頌を読む―』『台掌のカタチ』など。

第一部

最新技術が
探る阿修羅像



楠井隆志
九州国立博物館
展示課長

TAKASHI KUSUI
1968年、愛媛県生まれ。九州大学卒業。福岡県立美術館学芸員、福岡県教育庁文化課主任技師、九州国立博物館主任研究員を経て、2014年から現職。

第二部

CTスキャナで探る
阿修羅像の健康診断



今津節生
奈良大学教授

SETSUO IMAZU
1955年、和歌山県生まれ。青山学院大学大学院修了。奈良県立橿原考古学研究所保存科学課研究室長、九州国立博物館博物館科学課長などを経て、2016年から現職。



山崎隆之
愛知県立芸術大学
名誉教授

TAKAYUKI YAMAZAKI
1942年、東京都生まれ。東京藝術大学大学院修了。東京藝術大学美術学部古美術研究施設勤務を経て、2007年から現職。文化財保存修復学会に所属。著書に『仏像の秘密を読む』など。



杉山淳司
京都大学教授

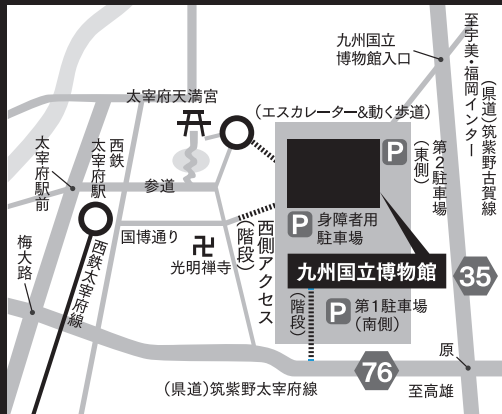
JUNJI SUGIYAMA
1959年、大阪府生まれ。京都大学卒業。東京大学農学部助手、京都大学木質科学研究所助教授、同生存圏研究所准教授を経て2006年から現職。



- 1 阿修羅像内部の心木の組み方が見えるCT画像
- 2 木材で復元された心木構造
- 3 麻布と木屎漆による阿修羅像の顔の復元

九州国立博物館

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2
NHTハローダイヤル:050-5542-8600(8:00~22:00/年中無休)



交通案内
公共交通機関：【西鉄電車】西鉄福岡(天神)駅から西鉄天神大牟田線(特急約16分/急行約19分)で西鉄二日市駅乗り換え、西鉄太宰府線(約5分)で西鉄太宰府駅下車、徒歩約10分 ※特急/急行料金不要
【JR】 JR博多駅からJR鹿児島本線(快速約15分)でJR二日市駅下車、JR二日市駅から西鉄二日市駅(徒歩約12分、バス約6分)、西鉄二日市駅から西鉄太宰府線利用
【西鉄バス】 博多バスターミナル(1階11番のりば太宰府行き)から西鉄太宰府駅下車(所要時間約40分)、徒歩約10分
■車：【九州自動車道】太宰府ICまたは筑紫野ICから高雄交差点経由で約20分
【福岡都市高速】 水城出口から高雄交差点経由で約20分
【タクシー利用】 JR二日市駅から約15分・福岡空港から約30分